



S Y L L A B U S

平成24年度高大連携授業

前期授業要目

(科目概要)

大学コンソーシアムあきた

目 次

1	英語文化・言語・教育・コミュニケーション学入門	(秋田大学)	1
2	高校と大学の間にあるもの	(秋田大学)	2
3	高校とは違う大学の生物学	(秋田大学)	3
4	生体分子が奏でる生命交響曲	(秋田大学)	4
5	宇宙への道	(秋田大学)	5
6	生き物たちの不思議な世界に学ぶ	(秋田県立大学)	6
7	応用生物学への招待	(秋田県立大学)	7
8	生物環境科学のフロンティア	(秋田県立大学)	8
9	アグリビジネス	(秋田県立大学)	9
10	森と循環型社会	(秋田県立大学)	10
11	コンピュータ、役に立ちます	(秋田県立大学)	11
12	電子技術はどのように使われているか	(秋田県立大学)	12
13	C言語プログラミング超入門	(秋田県立大学)	13
14	国際教養学への招待	(国際教養大学)	14
15	楽しい国際観光in秋田	(ノースアジア大学)	15
16	高校生のための経済学・経営学入門	(ノースアジア大学)	16
17	松尾芭蕉と奥の細道	(ノースアジア大学)	17
18	福祉について	(秋田看護福祉大学)	18
19	看護の魅力と可能性	(秋田看護福祉大学)	19
20	高校生のための看護学入門	(日本赤十字秋田看護大学)	20
21	デザイン・アート・クラフトの現状と近未来・パート1	(秋田公立美術工芸短期大学)	21
22	公共とデザイン	(秋田公立美術工芸短期大学)	22
23	食品と栄養の基礎知識	(聖霊女子短期大学)	23
24	ようこそ保育の道へ	(聖霊女子短期大学)	24
25	哲学はじめの一步	(聖霊女子短期大学)	25
26	暮らしを創る介護福祉士の役割	(日本赤十字秋田短期大学)	26
27	健康と栄養	(秋田栄養短期大学)	27
28	楽しく学べる保育入門	(聖園学園短期大学)	28
29	ソフトウェアのしくみ	(秋田職業能力開発短期大学校)	29
30	部屋を仕上げてみよう	(秋田職業能力開発短期大学校)	30
31	CADによるものづくり体験	(秋田職業能力開発短期大学校)	31

平成24年度高大連携授業＜前期＞授業要目（科目概要）

Syllabus

		大学等名		秋田大学					
科目名 (サブタイトル)	英語文化・言語・教育・コミュニケーション学入門 ～英語の楽しさ再発見～	科目	(学部・学科) 教育文化学部教科教育学講座						
		担当者	(職・氏名) 教授 佐々木 雅子						
授業概要									
<p>大学での英語というのは単に「英語」という科目があるわけではない。大学で「英語教育」といった場合、大きく分けて「英語という言語そのものを研究する」、「英語の文化的背景を研究する」、「英語教育・学習の心理や社会的要因を研究する」、「道具として使える英語能力を高める」この4つに分かれる。本講座では、これら各分野および留学について、秋田大学での担当教員が講義を行う。</p>									
授業方法 と留意点	<p>担当教員の話聞くだけでなく、視覚教材を通して英語学習を体験したり、実際に学習活動をしてもらうこともある。受講者は特に大学で「英語」を専攻しようとする方でなくても構わない。苦手だという人もまた新しい視点から英語を見直す機会になるものと期待する。</p>								
授 業 計 画									
6月6日									
第1講	外国語習得の心理と原理（外国語はこうして学ぶ） －英語を通して世界とつながるために－		教授 佐々木雅子						
6月13日									
第2講	ことばの仕組みを知ればもっと英語は楽しくなる		准教授 上田由紀子						
6月20日									
第3講	言語・コミュニケーション研究と英語学習		教授 星 宏人						
6月27日									
第4講	アメリカ文学の世界		准教授 中尾 信一						
7月4日									
第5講	英語、留学、コミュニケーション －英語を通して世界とつながる		准教授 若有 保彦						
テキスト	随時、担当者が配布します。								
参考文献	各担当者が授業で紹介します。								
開講時期	前期	水曜日	17:30～19:00	開講日	6/6	6/13	6/20	6/27	7/4
関連科目				会場	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ

平成24年度高大連携授業＜前期＞授業要目（科目概要）

Syllabus

		大学等名	秋田大学						
科目名 (サブタイトル)	高校と大学の間にあるもの ～大学「学習」論入門～	科目	(学部・学科) 教育推進総合センター						
		担当者	(職・氏名) 准教授 細川和仁						
授業概要 この授業では、大学での教育・学習の最近の動向について講義します。教育学や学習論といった研究分野から考えていきます。自分自身を省察（せいさつ）しながら、大学で学ぶことの意義について考えていきましょう。									
授業方法と留意点 教員からの一方の方向の情報提供だけでなく、教員と受講生、受講者間での議論や対話を取り入れていきます。また、授業は特定の大学の入試情報等を提供するものではありませんのでご了承ください。									
授 業 計 画									
【進行予定】 5月29日 第1講 大学の「大衆化」って何？ 学歴意識、大学進学率、大学「全入」の時代、ユニバーサル化 6月 5日 第2講 大学と社会の間にあるもの アドミッション・ポリシー、社会人基礎力、コンピテンシー 6月12日 第3講 大学は何をるところ？ グラデュエーションポリシー、進学動機、不本意就学、学生生活の満足度、 アドミッション・ポリシー 6月19日 第4講 教育の改善・充実に努力する大学 FD、授業改善、シラバス 6月26日 第5講 「カリキュラム・トランジション」とは？ 高大接続、CTC									
【到達目標】 ① 大学の教育・学習に関する最近の動向を説明できる。 ② この授業を通じて得た知識・技能・経験を省察し、自分なりに意味づけできる。 ③ 他の受講生にわかりやすく説明したり、他の受講者の説明を聞いたり、建設的な意見交換ができる。									
テキスト	必要な資料は授業時に配布しますので、予め用意するものではありません。								
参考文献	授業時に紹介します。								
開講時期	前期	火曜日	17:30～19:00	開講日	5/29	6/5	6/12	6/19	6/26
関連科目				会 場	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ

平成24年度高大連携授業＜前期＞授業要目（科目概要）

Syllabus

		大学等名	秋田大学						
科目名 (サブタイトル)	高校とは違う大学の生物学 ～暗記科目でない生物学～	科目	(学部・学科) 教育文化学部 自然環境講座						
		担当者	(職・氏名) 准教授 石井 照久						
授業概要 大学での生物学は高校までの生物学とはかなり違います。暗記が多い科目に思いがちですが実はそうではありません。生物学は生命現象を捉えようとする学問で、すべて生き物から学んでいます。そのために生き物に問いかけること、すなわち観察・実験が重要で、大学ではこれらに重きを置いています。観察・実験によって生命の神秘がわかったり、新たな疑問が生まれたりします。この科目では、高校と違う大学の生物学を少し体験してもらい、大学の生物学の楽しさを味わってもらいたいと思います。そのため実際に生き物を観察したり、DNA抽出体験をしてもらったりします。									
授業方法と留意点 テキストは特に指定しません。参考文献は、購入の必要はありませんが、興味があったら購入してください。									
授 業 計 画									
6月12日	第1講	大学の生物学はここが違う！ 生物学は面白い 役に立つ 生き物って？ 植物？動物？							
6月19日	第2講	細胞をみてみよう！ 普段見慣れている生き物も細胞でできている 細胞は増える 細胞は死ぬ でもがん細胞は不死身？							
6月26日	第3講	海の生物を知ろう！ 地表の70%を占める海には多様な生物がいる 海の環境が悪化すると							
7月 3日	第4講	動物の体をみよう！ 動物の体は基本的に似ている 解剖をしてみよう							
7月10日	第5講	遺伝子の正体であるDNAをみよう！ 遺伝子は何をしているか？ DNAを抽出してみよう							
テキスト	なし								
参考文献	「生物学超入門」大石正道著 日本実業出版¥1300+税 「遺伝子時代の基礎知識」東嶋和子著 講談社¥1040+税 「“生きている”ってどういうこと」培風館¥1900+税								
開講時期	前期	火曜日	17:30～19:00	開講日	6/12	6/19	6/26	7/3	7/10
関連科目				会場	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ

平成24年度高大連携授業＜前期＞授業要目（科目概要）

Syllabus

		大学等名	秋田大学						
科目名 (サブタイトル)	生体分子が奏でる生命交響曲 ～生命科学への誘い～	科目	(学部・学科) 工学資源学部 環境資源学研究センター						
		担当者	(職・氏名) 准教授 布村 渉						
授業概要	生命活動を音楽に例えるならば、遺伝子という楽譜を蛋白質という楽器群が秩序だつて演奏しているかのように見えます。この授業では、生命科学への入門編として、細胞、遺伝子、蛋白質の視点から見て行きます。								
授業方法 と留意点	生命現象に興味を持つ諸君を歓迎します。 理科の分野別（物理、化学、生物）の履修状況は問いません。								
授 業 計 画									
6月 2日									
第1講	13:30～15:00	オーケストラ登場		（「生命」ってなに？）					
6月 9日									
第2講	15:15～16:45	コンサートホールにて		（細胞の話）					
6月 9日									
第3講	13:30～15:00	楽譜に書かれていること		（遺伝子の話）					
6月 16日									
第4講	15:15～16:45	十人十色、演奏者のこと		（蛋白質の話）					
6月 16日									
第5講	13:30～15:00	ミスったらどうなる？		（ある病気の話）					
テキスト	なし（プリントを配布する予定）								
参考文献	ZEROからの生命科学 改訂第3版 木下勉 他著 南山堂 2010年								
開講時期	前期	土曜日	13:30～16:45	開講日	6/2	6/2	6/9	6/9	6/16
関連科目				会場	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ

平成24年度高大連携授業<前期>授業要目(科目概要)

Syllabus

		大学等名	秋田大学					
科目名 (サブタイトル)	宇宙への道	科目	(学部・学科) 工学資源学部 ものづくり創造工学センター					
		担当者	(職・氏名) 助教 和田 豊					
授業概要	ロケットや人工衛星の開発や、宇宙探査に必要な不可欠となる技術の導入部を、近年話題となった「はやぶさ」の活躍を交えながら紹介し、モデルロケットの製作・打上げを実施するなど体験型の授業を展開します。							
授業方法 と留意点	文系・理系を問わず、宇宙に興味のある高校生を対象とする。高校で習う簡単な数値計算や物理の法則を用いた計算を行うが、文系の学生にも理解できるように指導する。							
授 業 計 画								
6月16日 第1講 13:30~15:00 ガイダンス 今まで打上げられた日本のロケット, 人工衛星の紹介。宇宙食・テラフォーミングなど有人開発について。能代宇宙イベントなど、秋田県の宇宙関連活動の紹介。								
6月23日 第2講 13:30~15:00 ロケット 化学ロケット(個体、液体、ハイブリッド)分類(単段、多段、クラスター、再使用)について動画を用いながら解説。簡単なロケットの挙動に関する計算。								
6月30日 第3講 13:30~15:00 モデルロケット製作 第2講の授業で学んだ、ロケットの構造原理を頭に入れながらモデルロケットの製作を行う。								
第4講 15:15~16:45 モデルロケット打上げ 第3講で製作したモデルロケットを打上げる。								
7月7日 第5講 13:30~15:00 宇宙探査機と人工衛星 はやぶさの活躍を例に挙げながら、宇宙探査機について解説する。人工衛星の技術を開発し、缶サットを紹介する。最後に、宇宙関係の職業や宇宙工学を勉強できる大学等の進学先についても紹介する。								
<その他> この授業は、秋田大学手形キャンパスを会場に開講します。 住所 010-8502 秋田市手形学園町1-1 工学資源学部 ものづくり創造工学センター								
テキスト	授業時に用意します。							
参考文献	授業内で紹介します。							
開講時期	前期	土曜日13:30~15:00第4講だけ16:45迄	開講日	6/16	6/23	6/30	6/30	7/7
関連科目			会場	秋大手形	秋大手形	秋大手形	秋大手形	秋大手形

平成24年度高大連携授業＜前期＞授業要目（科目概要）

Syllabus

		大学等名		秋田県立大学					
科目名 (サブタイトル)	生き物たちの不思議な世界に学ぶ	科目	(学部・学科) 生物資源科学部 生物生産科学科						
		担当者	(職・氏名) 教授 古屋 廣光						
授業概要		生物生産科学科担当教員のオムニバス形式による講義。教員が研究材料としている生き物たちの不思議な世界へ導く。5名の教員の研究材料を対象に研究することの面白さ、楽しさを講義する。							
授業方法と留意点		研究とは何かを教員の研究する姿勢から理解を進める。特に植物に対する興味を持つ高校生が受講することを期待する。各授業終了前に、簡単な授業の感想レポートを書いていただきます。							
授 業 計 画									
5月20日（日）									
第1講	9:30～11:00	「昆虫の不思議」	阿部 誠	准教授					
第2講	11:10～12:40	「モデル植物が明らかにする 生命のプログラム」	渡辺 明夫	准教授					
	12:40～13:20	(昼食時間) 昼食を持参ください							
第3講	13:20～14:50	「驚異の共生生物、地衣類」	原 光二郎	助 教					
5月27日（日）									
第4講	9:30～11:00	「品種改良による生物の進化」	高橋 秀和	准教授					
第5講	11:10～12:40	「嫌われ物！？花粉のふしぎ」	上田 健治	助 教					
テキスト	授業ごとに資料を配布する								
参考文献									
開講時期	前期	日曜日	集中	開講日	5/20	5/20	5/20	5/27	5/27
関連科目				会場	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ

平成24年度高大連携授業＜前期＞授業要目（科目概要）

Syllabus

		大学等名	秋田県立大学						
科目名 (サブタイトル)	応用生物学への招待	科目	(学部・学科) 生物資源科学部 応用生物科学科						
		担当者	(職・氏名) 准教授 村口 元						
授業概要	7回目迎える当科目の授業は、化学から生物までのさまざまな応用研究を科学の視点から幅広く紹介するとともに、それらの特徴および能力を我々人類の生活に生かせる最新のバイオテクノロジーについて各分野の専門家が解説します。								
授業方法 と留意点	授業はオムニバス形式で行います。各授業の前半では担当者の専門分野に関する基礎知識を、後半では担当者が大学で行っている最前線の研究をそれぞれ紹介します。各授業終了前に、簡単な授業の感想レポートを書いていただきます。								
授 業 計 画									
6月 9日（土）第1講 「生物が作る宝石：バイオミネラルリゼーションの科学」 尾崎 紀昭 助 教									
6月16日（土）第2講 「植物の作る『おいしい』化合物」 水野 幸一 准教授									
6月30日（土）第3講 「古くて新しい発酵食品の話」 伊藤 俊彦 助 教									
7月 7日（土）第4講 「癌（がん）を探す ～癌を光らせる薬剤の開発～」 穂坂 正博 教 授									
7月28日（土）第5講 「キノコの形作りとその遺伝子研究」 村口 元 准教授									
テキスト	授業ごとに資料を配付する								
参考文献									
開講時期	前期	土曜日	13:30～15:00	開講日	6/9	6/16	6/30	7/7	7/28
関連科目	生物、化学			会 場	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ

平成24年度高大連携授業＜前期＞授業要目（科目概要）

Syllabus

		大学等名		秋田県立大学					
科目名 (サブタイトル)	生物環境科学のフロンティア ～フィールドワークで探究する人と環境の関わり～	科目	(学部・学科) 生物資源科学部 生物環境科学科						
		担当者	(職・氏名) 准教授 宮田 直幸						
授業概要									
県内外でフィールドワークに携わる教員が、自然の物質循環や生物多様性の役割、人間活動の環境影響や地域社会の現状等について講義する。人と環境の関わりを幅広く捉え、地域環境の諸課題への対処策について考える。									
授業方法と留意点		担当教員によるオムニバス形式の講義である。身近な自然や地域環境を題材として、最近の研究成果をまじえながら講義を進める。各授業終了前に、簡単な授業の感想レポートを書いていただく。							
授 業 計 画									
6月 9日 (土)									
第1講 13:30～15:00		佐藤 了 教授							
「新ライフスタイルと地域ビジネスの創造 ～豊かな農山村あつてはじめて豊かな都市あり～」									
第2講 15:15～16:45		星崎 和彦 准教授							
「生物多様性の価値 ～科学的・日本的に考えてみる～」									
6月 17日 (日)									
第3講 9:30～11:00		佐藤 孝 准教授							
「食料生産と環境を考える ～農業は周辺環境にどのような影響をおよぼすか?～」									
第4講 11:10～12:40		早川 敦 助 教							
「流域の物質循環と河川水質 ～陸と海をつなぐ川」									
12:40～13:20		(昼 食 時 間)			※昼食を持参してください				
第5講 13:20～14:50		宮田 直幸 准教授							
「生態工学的な手法を用いた環境・資源対策技術の開発 ～資源循環型社会の構築を目指して～」									
テキスト	授業ごとに資料を配布する								
参考文献									
開講時期	前期	土曜日・日曜日		開講日	6/9 (土)	6/9 (土)	6/17(日)	6/17(日)	6/17(日)
関連科目	生物環境学、森林科学、地域計画学、土壌学、他			会場	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ

平成24年度高大連携授業＜前期＞授業要目（科目概要）

Syllabus

		大学等名	秋田県立大学					
科目名 (サブタイトル)	アグリビジネス ～農業の新しい魅力に迫る～	科目	(学部・学科) 生物資源科学部 アグリビジネス学科					
		担当者	(職・氏名) 教授 荒樋 豊					
授業概要	本授業は、農業という世界のもつ今日的な役割や価値について、アグリビジネス学科の5名の教員が各専門分野からの問い直しをおこない、農業の魅力を語る。							
授業方法 と留意点	オムニバス形式の講義であり、1講毎に完結するものであるが、連続して受講することにより、農業の魅力の全体像の理解に役立つように組み立てている。専用のテキストとパワーポイントによる講義を基本とし、必要に応じてディスカッションをおこなう。授業感想レポートの提出。							
授 業 計 画								
7月1日(日)								
第1講	9:30～11:00	荒樋 豊 教授	「農業・農村の魅力 ～人々のふれあいを求めて～」					
第2講	11:10～12:40	永澤 信洋 准教授	「お米の魅力 ～未来の稲作を求めて～」					
	12:40～13:20	(昼 食 時 間)	※昼食を持参してください					
第3講	13:20～14:50	小池 晶琴 助教	「お肉の魅力 ～本当の美味しさを求めて～」					
7月8日(日)								
第4講	9:30～11:00	神田 啓臣 准教授	「花と緑の魅力 ～安らぎのある暮らしを求めて～」					
第5講	11:10～12:40	小林 由喜也 教授	「自然エネルギーの魅力 ～太陽の恵みを求めて～」					
テキスト	独自に作成したテキストを配布する							
参考文献								
開講時期	前期	日曜日 集中	開講日	7/1	7/1	7/1	7/8	7/8
関連科目			会 場	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ

平成24年度高大連携授業＜前期＞授業要目（科目概要）

Syllabus

		大学等名	秋田県立大学					
科目名 (サブタイトル)	森と循環型社会 ～バイオマスによる未来開拓～	科目	(学部・学科) 木材高度加工研究所					
		担当者	(職・氏名) 教授 高田 克彦					
授業概要	21世紀はこれまでの消費型社会から循環型社会への転換の時代です。この授業では森林及び木材の基本的特性と木材のエネルギー利用の理解を通してバイオマスによる未来開拓の可能性とその意義について学びます。							
授業方法 と留意点	この授業では授業計画に記載されている内容に関してオムニバス形式で講義を進めます。21世紀の地球環境保全とバイオマス資源に興味を持つ学生諸君の受講を期待します。							
授 業 計 画								
授業は以下の5つの講義を行います。内容はそれぞれのキーワードを参照してください。								
第1講	8月4日（土）13：30～15：00 8月8日（水）13：30～15：00	「森林資源の現状」 キーワード：世界と日本の森林，植物の進化と遺伝	高田 克彦 教授					
第2講	8月4日（土）15：15～16：45 8月8日（水）15：15～16：45	「木材の生物的側面」 キーワード：樹木の生長特性，木材の組織構造	高田 克彦 教授					
第3講	8月5日（日）10：30～12：00 8月9日（木）10：30～12：00	「木材の化学的側面」 キーワード：木材の主要成分，木材成分の有効利用	栗本 康司 教授					
(昼食時間)	12：00～13：00	※昼食を持参してください						
第4講	8月5日（日）13：00～14：30 8月9日（木）13：00～14：30	「木材の物理的側面」 キーワード：木材系資源の有効利用，木質住宅，リサイクル	山内 秀文 准教授					
第5講	8月5日（日）14：40～16：10 8月9日（木）14：40～16：10	「木材のエネルギー的側面」 キーワード：カーボンニュートラル，木質系資源のエネルギー化， LCA(Life Cycle Assessment)	山内 繁 教授					
＜その他＞8月4，5日の会場は（秋田県立大学木材高度加工研究所）を会場に開講します。 住所 能代市字海詠坂11-1 電話 0185-52-6900 8月8，9日の会場は秋田市のカレッジプラザを会場に開講します。授業は同じ内容で行います。								
テキスト	毎回の講義時に配布します	開講日	8/4	8/4	8/5	8/5	8/5	
参考文献	木材百科（県立大・木材高度加工研究所編集）	会場	能代市	能代市	能代市	能代市	能代市	
開講時期	前期	夏季集中	開講日	8/8	8/8	8/9	8/9	8/9
関連科目	森林資源学，木質環境・エネルギー学他	会場	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ	

平成24年度高大連携授業＜前期＞授業要目（科目概要）

Syllabus

		大学等名	秋田県立大学						
科目名 (サブタイトル)	コンピュータ、役に立ちます ～コンピュータの活用法とその背景～	科目	(学部・学科) システム科学技術学部 電子情報システム学科・経営システム工学科						
		担当者	(職・氏名) 准教授 廣田 千明						
授業概要	私たちの身のまわりにある問題をコンピュータを使って解決するために必要な基礎的 考え方や様々な技術の活用法を学びます。								
授業方法 と留意点	コンピュータを使った体験型の学習を含みます。								
授 業 計 画									
6月12日 第1講 「コンピュータを使った問題解決」 廣田 千明 准教授									
6月19日 第2講 「パケットの中身をみてみよう」 寺田 裕樹 助 教									
6月26日 第3講 「音の仕組み、音を作る（創る）には」 渡邊 貫治 助 教									
7月 3日 第4講 「折り紙で幾何学」 松下 慎也 助 教									
7月10日 第5講 「コンピュータを使って重要な経営情報をつかもう！」 工藤 周平 助 教									
<p><その他> この授業は、秋田県立大学本荘キャンパスを会場に開講します。</p> <p>住所 由利本荘市土谷字海老ノ口84-4</p> <p>電話 0184-27-2000</p>									
テキスト	授業ごとに資料を配布します。								
参考文献									
開講時期	前期	火曜日	17:30～19:00	開講日	6/12	6/19	6/26	7/3	7/10
関連科目				会 場	県大本荘	県大本荘	県大本荘	県大本荘	県大本荘

平成24年度高大連携授業<前期>授業要目(科目概要)

Syllabus

		大学等名		秋田県立大学				
科目名	電子技術はどのように使われているか (サブタイトル)	科目	(学部・学科)	システム科学技術学部 電子情報システム学科				
		担当者	(職・氏名)	教授 青山 隆				
授業概要 我々の生活の隋所に入り込んでいる電子技術について、その原理や応用などについての最新技術について授業を行う。								
授業方法と留意点								
授 業 計 画								
6月 1日	第1講	「発光ダイオード(LED)のしくみとその使い方」	青山 隆	教授				
6月 8日	第2講	「液晶と光の不思議」	本間 道則	准教授				
6月15日	第3講	「電磁気学とその応用を見てみよう」	戸花 照雄	准教授				
6月22日	第4講	「電波はどのように利用されているか」	笹森 崇行	准教授				
6月29日	第5講	「雑音のはなし」	岡本 洋	准教授				
テキスト								
参考文献								
開講時期	前期	金曜日17:30~19:00	開講日	6/1	6/8	6/15	6/22	6/29
関連科目			会 場	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ

平成24年度高大連携授業<前期>授業要目(科目概要)

Syllabus

		大学等名		秋田県立大学					
科目名 (サブタイトル)	C言語プログラミング超入門 ~ちょっと先取り, 大学のプログラミング授業~	科目	(学部・学科) システム科学技術学部 電子情報システム学科						
		担当者	(職・氏名) 准教授 廣田 千明						
授業概要	講義と実習により, C言語を勉強します。								
授業方法 と留意点	本科目は秋田県立大学システム科学技術学部電子情報システム学科必修科目「プログラミング演習」の3回分の授業に相当します。本科目受講生は希望すれば, 本科目を単位取得予約型授業に切り替え, 残りの12回の授業を受講することで単位取得が可能です。								
授 業 計 画									
6月15日 第1講 「プログラミング入門」									
6月22日 第2講 「C言語の基本的規則(1)」									
6月29日 第3講 「C言語の基本的規則(2)」									
7月 6日 第4講 「簡単な計算・プリプロセッサ(1)」									
7月13日 第5講 「簡単な計算・プリプロセッサ(2)」									
授業担当教員 システム科学技術部電子情報システム学科 准教授 廣田 千明 准教授 能登谷 淳一 助教 渡邊 貫治									
<その他>この授業は, 秋田県立大学本荘キャンパスを会場に開講します。 住所 由利本荘市土谷字海老ノ口84-4 電話 0184-27-2000									
テキスト	授業ごとに資料を配布します。								
参考文献	「Cの絵本」アंक著 翔泳社								
開講時期	前期	金曜日	17:30~19:00	開講日	6/15	6/22	6/29	7/6	7/13
関連科目				会場	県大本荘	県大本荘	県大本荘	県大本荘	県大本荘

平成24年度高大連携授業＜前期＞授業要目（科目概要）

Syllabus

		大学等名	国際教養大学					
科目名 (サブタイトル)	国際教養学への招待	科目	(学部・学科) 教養学部					
	Invitation to International Liberal Arts	担当者	(職・氏名) 教授イーゼン・リアン					
<p>授業概要 「国際教養学とは何か」を、国際教養大学の教員グループがそれぞれの専門分野の最先端の研究成果を踏まえながら、高校生向けにわかりやすく講義します。世界を理解するうえで何が重要か、大学で「学問」することがいかに楽しいか、国際感覚を身につけるには高校時代から何をどう準備すべきかをいろいろな角度から指導します。</p>								
<p>授業方法と留意点 授業は、担当する教員によって、日本語または英語で行います。生徒が事前に何かを準備する必要はありません。講義とQ&A（質疑応答）を組み合わせ、全体として演習、ワークショップのような形をとっていきます。</p>								
授 業 計 画								
<p>6月30日 第1講 Learning through Biking: Taiwan society from a rolling perspective Yi-Zheng Lian教授 外国を旅して、その国や市民について知るには自転車に乗って都市部と田舎を走ってみることで。12日間かけて台湾を自転車で回った体験で見えてきた台湾の歴史、宗教、政治・経済や市民の暮らしについて“自転車目線”で楽しく学んでみましょう（講義は英語で行います）。</p>								
<p>7月 7日 第2講 13:30～15:00 Writing a Paragraph through In-Class Survey 町田 智久 講師 この授業では、パラグラフ・ライティングについて学びます。パラグラフ・ライティングとは、英語で文章を書く上での基本となる形式で、主題・具体例・まとめ等を含めた段落作成のことです。いくつかの活動を通して、どのようにパラグラフを構成するかについて理解します。その後は、クラスの参加者にインタビューをしてデータを集め、オリジナルのパラグラフを書いてみましょう（講義は英語で行います）。</p>								
<p>第3講 15:15～16:45 「歴史」の重み 水野 智仁 准教授 「歴史」を背負わぬ個人や家族はいません。それは国家や複数の国家が織りなす国際関係も同様です。しかしながら、時と場合によって、「歴史」に無意識でいられることもあれば、その重みによって重大な制約を受けることもあります。この授業では、「歴史」が東アジアの国際関係に及ぼす影響とその原因について、事例分析を行ってみたいと思います（講義は日本語で行います）。</p>								
<p>7月14日 第4講 外国人に日本語を教える 堀内 仁助 助教 日本人なら普段何気なく話している日本語ですが、それを外国人に教えるという仕事があることをご存知でしょうか。本講座では、日本語教育とはどのような仕事なのか、また、日本語教師になるためにどんな勉強をすればいいか、具体的にお話してみたいと思います（講義は日本語で行います）。</p>								
<p>7月28日 第5講 Takarazuka Grand Review Darren J. Ashmore 准教授 日本の伝統的な演劇である「歌舞伎」と現代の代表的な演劇のひとつである「宝塚」を歴史的、文化的背景を比較しながら学んでみましょう（講義は英語で行います）。</p>								
テキスト		第5講の授業前にDVD（宝塚関連）を見ておくこと。受講人数分をカレッジプラザ内AIUサテライトに用意します。						
参考文献								
開講時期	前期	±13:30-15:00 7/7のみ16:45迄	開講日	6/30	7/7	7/7	7/14	7/28
関連科目			会場	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ

平成24年度高大連携授業<前期>授業要目(科目概要)

Syllabus

		大学等名	ノースアジア大学					
科目名 (サブタイトル)	楽しい国際観光in秋田	科目	(学部・学科) 法学部 観光学科					
		担当者	(職・氏名) 教授 向谷地 博信					
授業概要	海外旅行や海外の仕事で楽しかったこと、海外のすばらしい観光地の事情など、国際観光についての講義です。							
授業方法 と留意点	講義を担当する教員たちは、海外旅行に何度も行ったり、旅行会社の仕事で様々な国へ出かけたり、海外のいろいろなホテルのマネジメントに関わってきました。この講義を受けて、海外旅行や海外での仕事について聞いてみましょう。							
授 業 計 画								
<p>5月30日 第1講 海外旅行や海外の仕事で楽しかったこと</p> <p>1. 海外旅行をして楽しかったこと (三浦 薫 講師)</p> <p>2. 海外のホテル経営をして楽しかったこと (向谷地博信 教授)</p> <p>3. 海外のツアー・コンダクターとして楽しかったこと (柘田弘明 教授)</p> <p>6月 6日 第2講 旅行ビジネス&ツアー・コンダクター入門 (柘田弘明)</p> <p>地球は意欲ある「きみ」のもの。一度きりの人生、日本一周はもちろん、世界一周をしてみよう。その近道は、旅行ビジネスとツアー・コンダクター(旅行添乗員)の仕事の中にある。さて、その仕事に就くために今からやっておくべきことは?</p> <p>6月13日 第3講 とにかく日本を飛び出そう! (三浦 薫)</p> <p>2泊3日でも1週間でも、半年でも、少しのお金と時間があったら日本を飛び出しましょう。違う国を見、違う空気を吸い、違う料理を食べたら・・・違う自分になれるはずです。飛行機でほんの数時間の距離に、あなたの知らない世界が広がっていますよ。</p> <p>6月20日 第4講 世界の話の豪華ホテル (向谷地博信)</p> <p>ホテルには、シティホテルやリゾートホテルやカジノホテル・・・と滞在するためだけに行きたくなるような豪華な夢のようなホテルがあります。そこには多くの日本人女性がホテルウーマンとして活躍しています。貴方も秋田から飛び出て世界の豪華ホテルで仕事してみませんか?将来、秋田に帰ってくれば観光カリスマになれること必定!</p>								
テキスト	特になし							
参考文献	特になし							
開講時期	前期	水曜日 17:30~19:00	開講日	5/30	6/6	6/13	6/20	
関連科目			会場	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ	

平成24年度高大連携授業＜前期＞授業要目（科目概要）

Syllabus

		大学等名	ノースアジア大学						
科目名 (サブタイトル)	高校生のための経済学・経営学入門	科目	(学部・学科) 経済学部 経済学科						
		担当者	(職・氏名) 教授 鈴木 達郎						
授業概要	私たちの日常生活は、経済活動を基礎に成り立っています。先人たちは、豊かな社会を目指して経済の仕組みを改良してきました。それは、政治や思想、社会の変化を伴うものでもありました。高校では「現代社会」、「政治・経済」、「倫理社会」でそれらのことを学んでいることでしょう。この授業は、そうした知識を深める一助となるはずです。								
授業方法 と留意点	経済学・経営学の理論、実践、歴史という3つの柱を念頭に、一話完結の講義を、オムニバス形式で実施します。今回の授業シリーズの終わりに、講義の感想や今後聞いてみたい経済・経営のテーマ、トピック等についてアンケートをとります。ご協力をお願いします。								
授 業 計 画									
<p>6月8日 第1講 「歴史的円高と日本経済」 前田 直哉 講師</p> <p>いわゆる歴史的円高が日本経済に打撃を与えています。何故、そのような円高が生じたのでしょうか？ そもそも、為替レートはどのようなメカニズムを通じて変動するのでしょうか？ 以上のような素朴な疑問について皆さんと一緒に考えていきたいと思います。</p> <p>6月15日 第2講 「どうなる！？ 消費税」 迫 一光 講師</p> <p>借金漬けといわれる日本の財政状況を改善するために、いつも話題になるのが消費税の引き上げです。実際にそうなるのでしょうか？ この素朴な疑問について、国の歳出や歳入の構造を理解しながら一緒に考えたいと思います。</p> <p>6月22日 第3講 「日本経済はなぜ元気がないのか？」 鈴木 達郎 教授</p> <p>日本経済に元気がなくなったのは1991年のバブル崩壊以降です。2012年にまで至るこの20年間は、「長期停滞期」「失われた20年」といわれます。皆さんの生きてきた時代がすっぽりこの中に入ってしまいます。なぜこのようなことが続くのでしょうか、考えてみます。</p> <p>6月29日 第4講 「リスクって悪いものなの？」 山本 俊 講師</p> <p>「あなたは大切なものをどう運びますか？」授業はこの質問からスタートし、統計学の基礎知識を説明したのちに、株式投資におけるリスク分散の理論を紹介します。計算機を持参して下さい。</p> <p>7月6日 第5講 「仕事における満足と不満足」 松永 州正 講師</p> <p>どうすれば従業員の満足度が高まるのでしょうか。給与の改善は、彼らを満足させるのでしょうか。従業員が仕事を通じて、満足を感じる要因と不満足を感じる要因は異なります。このことを手掛かりに、管理のあり方を考えます。</p>									
テキスト	講義中に配布する資料を使います								
参考文献	講義中に、読んでほしい本を紹介します								
開講時期	前期	金曜日	17:30~19:00	開講日	6/8	6/15	6/22	6/29	7/6
関連科目				会場	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ

平成24年度高大連携授業＜前期＞授業要目（科目概要）

Syllabus

		大学等名		ノースアジア大学				
科目名 (サブタイトル)	松尾芭蕉と奥の細道	科目	(学部・学科)					
		担当者	(職・氏名) 教授 花田 富二夫					
授業概要	元禄2年3月末に出発した、芭蕉の第3次俳諧旅行『奥の細道』の文章をたどりつつ、東北の風土や芭蕉俳文の魅力についてまなびます。							
授業方法 と留意点	日本文学の金字塔と言える『奥の細道』は、豊かな東北の風土と密接に関係しています。さらに、この作品は決して事実の紀行文ではなく、芭蕉の創作性にもあふれています。作品の持つ詩情と文芸性に着目しながら、東北の旅を行いましょ。ときには、ビデオの鑑賞も含みます。また、芭蕉自筆と言われるものも紹介しつつ、芭蕉の筆跡も眺めてみましょう。							
授 業 計 画								
6月13日	第1講	芭蕉と奥の細道総説 奥の細道 鑑賞①	出発・日光・那須野・殺生石・白河の関					
6月20日	第2講	奥の細道 鑑賞②	もち摺・仙台・壺碑・松島					
6月27日	第3講	奥の細道 鑑賞③	高館・平泉・尿前・立石寺・最上川					
7月4日	第4講	奥の細道 鑑賞④	羽黒三山・象潟・遊女・金沢～大垣（終章）					
※すべての授業でビデオも用意します（15分～30分）								
テキスト	プリントを用意します。							
参考文献	講義中に紹介します。各自で自由に選んでください。							
開講時期	前期	水曜日	17:30～19:00	開講日	6/13	6/20	6/27	7/4
関連科目	日本文化・東北学		会場	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ	

平成24年度高大連携授業＜前期＞授業要目（科目概要）

Syllabus

		大学等名		秋田看護福祉大学				
科目名 (サブタイトル)	福祉について ～4日で学ぶ福祉の仕事～	科目	(学部・学科) 看護福祉学部 福祉学科					
		担当者	(職・氏名) 教授 赤羽 卓朗					
授業概要	福祉学科教員が、各専門領域としている最近のトピックスについて講義を行う。受講生は、福祉についてより理解を深めることが出来るであろう。							
授業方法 と留意点	授業に参加し、福祉の仕事の理解を深めよう。							
授 業 計 画								
<p>6月 2日 第1講 「少子高齢化社会と社会福祉の役割」 赤羽 卓朗 教授</p> <p>6月16日 第2講 「障害のある人々の生活と支援」 柴田 博 教授</p> <p>6月23日 第3講 「福祉の仕事 - その役割と意味」 村岡 則子 講師</p> <p>6月30日 第4講 「高齢化における介護について」 村田 道彦 講師</p>								
<p>＜その他＞ この授業は、秋田看護福祉大学を会場に開講します。</p> <p>住所 大館市清水2丁目3-4</p> <p>電話 0186-45-1717</p>								
テキスト	なし							
参考文献	開講時必要に応じて紹介します							
開講時期	前期	土曜日	13:30～15:00	開講日	6/2	6/16	6/23	6/30
関連科目				会場	看護福祉大	看護福祉大	看護福祉大	看護福祉大

平成24年度高大連携授業＜前期＞授業要目（科目概要）

Syllabus

		大学等名		秋田看護福祉大学				
科目名 (#がタイトル)	看護の魅力と可能性 ～看護学のこれからを探る～	科目	(学部・学科) 看護福祉学部 看護学科					
		担当者	(職・氏名) 教授 田口 牧子					
授業概要		看護学科教員が、各専門領域の授業を通して、様々な場における看護を紹介しその魅力をお伝えします。高度化する現代医療の中でも、人を「見る」「護る」看護の大切さと、その可能性を共に考えます。						
授業方法 と留意点	大学で行っている「看護学」の講義や演習を、身近に感じてもらえるような授業を展開します。							
7月7日 第1講		「癒しがもたらす看護の力」	基礎看護学	今野 修	助教			
7月14日 第2講		「安全な医療」	看護管理学	田口 牧子	教授			
7月21日 第3講		「リラクゼーション技法を学ぼう」	成人看護学	水木 暢子	教授			
7月28日 第4講		「赤ちゃんと楽しい沐浴」	助産学	村上 京子	教授			
＜その他＞		この授業は、秋田看護福祉大学を会場に開講します。						
		住所 大館市清水2丁目3-4						
		電話 0186-45-1717						
テキスト	適宜資料を配布する							
参考文献								
開講時期	前期	土曜日	13:30～15:00	開講日	7/7	7/14	7/21	7/28
関連科目				会場	看護福祉大	看護福祉大	看護福祉大	看護福祉大

平成24年度高大連携授業＜前期＞授業要目（科目概要）

Syllabus

		大学等名	日本赤十字秋田看護大学					
科目名 (サブタイトル)	高校生のための看護学入門 ～「生きる」を支える人になる～	科目	(学部・学科) 看護学部 看護学科					
		担当者	(職・氏名) 教授 宮堀 真澄					
授業概要 各専門領域（成人看護、老年看護学、小児看護学、精神看護学、地域看護学）の看護やその活動を紹介することで、看護のこころ、ケアについて理解と関心を深める。								
授業方法 と留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・ オムニバス形式で下記担当者によるリレー形式で講義をすすめます。 ・ 講義は全てカレッジプラザにて夏季集中で行います。 							
授 業 計 画								
8月 9日 (木)								
第1講	9:30～11:00	高校生のための精神看護学 「心のケアの看護学」	牟田 能子 助教					
第2講	11:10～12:40	高校生のための成人看護学 「健康の維持と増進へ向けた看護援助」	宮堀 真澄 教授					
※	12:40～13:20	昼食時間 昼食を持参ください。						
第3講	13:20～14:50	高校生のための老年看護学 「高齢者の理解」	佐藤 サツ子教授					
8月10日 (金)								
第4講	9:30～11:00	高校生のための地域看護学 「地域における看護活動」	佐々木 亮平助教 木下 彩子 助教					
第5講	11:10～12:40	高校生のための小児看護学 「小児喘息について」	奥山 朝子准教授					
テキスト	適宜、資料を配布します							
参考文献								
開講時期	前期	夏季集中 (木・金)	開講日	8/9	8/9	8/9	8/10	8/10
関連科目			会場	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ

平成24年度高大連携授業＜前期＞授業要目（科目概要）

Syllabus

		大学等名		秋田公立美術工芸短期大学					
科目名 (サブタイトル)	デザイン・アート・クラフトの現状と 近未来・パート1	科目	(学部・学科)	工芸美術学科					
			担当者	(職・氏名)	学科長 松本 研一				
授業概要 急激な社会の変化を背景に、デザイン・アート・クラフト等美術の世界も大きく変化し、教養として鑑賞する世界から、身近な生活と共にある日常的な価値が求められている。美術の現状と新たな世界について解説する。									
授業方法と留意点 専門分野が異なる3名の教員によるオムニバス授業 次の時間に行われる「公共とデザイン」と2コマ連続での受講もできます。									
授 業 計 画									
<p>5月26日 第1講 「何のための表現か」 松本 研一 教授（木材工芸） 人は何故人工のモノ（芸術品や生活用品など）をつくり続け、何を表現してきたのだろうか、という素朴な疑問を足がかりにして、身近に存在するモノを改めて眺め、私たちとの関係を考えてみよう。新しい視点を獲得するために。</p> <p>6月 2日 第2講 「これからのものづくり」 松本 研一 教授（木材工芸） ものづくりの世界における今日の利便性や功利性の功罪を眺め、これからのものづくりに求められているのは何かを考察する。使い捨てではない持続性のあるものづくりのために。</p> <p>6月 9日 第3講 「アート・プロジェクトとは何か」 芝山 昌也 准教授（彫 刻） 最近よく耳にするアート・プロジェクトについて、世界の事例から秋田の事例までを取り上げて、領域を超えた取り組みの面白さと現状について説明する。</p> <p>6月16日 第4講 「変化するアートの現状と未来」 島屋 純晴 教授（彫刻・立体造形） これまでの美術の授業では知ることのできない、現代アートの現状を分かりやすく解説し、近未来のアートの方向性を考える。</p> <p>7月 7日 第5講 「アートと人間と社会」 島屋 純晴 教授（彫刻・立体造形） アートが人間の社会とどのように関わり、どのような機能を持つのか。現代と近未来の世界におけるアートの役割について考える。</p>									
テキスト									
参考文献									
開講時期	前期	土曜	13:30～15:00	開講日	5/26	6/2	6/9	6/16	7/7
関連科目				会 場	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ

平成24年度高大連携授業<前期>授業要目(科目概要)

Syllabus

		大学等名		秋田公立美術工芸短期大学					
科目名 (#がタイトル)	公共とデザイン	科目	(学部・学科)	産業デザイン学科					
		担当者	(職・氏名)	教授 渡邊 有一					
授業概要 私たちは、情報機器やインテリア用品、店舗や公共施設、そしてウェブサイトやフリーペーパー等、デザインされた物や空間や情報に囲まれている。本授業では、こうした多様なデザインの公共(社会)的意義を概説します。									
授業方法と留意点 授業はオムニバス方式で、5人の担当者によるリレー形式の講義です。 この講義は 土曜日 15:15~16:45の時間帯で進めます。前の時間帯の「デザイン・アート・クラフトの現状と近未来・パート1」と2コマ連続での受講も可能です。									
授 業 計 画									
<p>5月26日 第1講 「デザインのとらえかたとその変遷」 天貝 義教 教授 今日の日本におけるデザインの発展の基礎を確立した、明治時代のデザインの先駆者たちの活動について、明治政府初の海外博覧会参加や、日本初のデザインの法律である意匠条例などの関連から概説します。</p> <p>6月2日 第2講 「これからのものづくり」 五十嵐 潤 教授 作り手(生産者)と使い手(消費者)の間で、デザインという仕事に求められているのは何かを社会的動向を対照しながら考えてみます。</p> <p>6月9日 第3講 「商品開発とデザイン」 渡邊 有一 教授 企業が商品を開発する際のデザイナーや生活者が果たす役割や今後の検討課題について、事例を交えて概説します。</p> <p>6月16日 第4講 「デザインの公共性」 菅原 香織 助教 公共空間におけるデザインの考え方や具体的な進め方について、事例紹介を交えて概説します。</p> <p>7月7日 第5講 「古建築を活かす」 澤田 享 教授 過去にデザインされた文化財としての古建築を中心に、その現代的意義と活用について事例を交えて概説します。</p>									
テキスト									
参考文献									
開講時期	前期	土曜日	15:15~16:45	開講日	5/26	6/2	6/9	6/16	7/7
関連科目				会場	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ

平成24年度高大連携授業<前期>授業要目(科目概要)

Syllabus

		大学等名	聖霊女子短期大学						
科目名 (サブタイトル)	食品と栄養の基礎知識 ～身近な食をふりかえる～	科目	(学部・学科) 生活文化科						
		担当者	(職・氏名) 教授 塚田 三香子						
授業概要 栄養士養成課程で学ぶ栄養学、食品学、調理学、臨床栄養学、食品衛生学といった分野について、基礎的で簡単な実験や実習も取り入れながら解説する。									
授業方法 と留意点	授業の目的は高校生向けに、食品と栄養に関する正しい知識を伝え、食生活に興味を持ってもらうことである。これを機会に自分自身の食生活を振り返り、健康づくりに役立ててほしい。資料は各講師が講義前にプリントで配る。また実験や実習に必要なものも講師が準備するので、受講生の準備は筆記用具のみでよい。								
授 業 計 画									
<p>5月26日 第1講 「健康と栄養」 進藤 祥子 准教授 身体と栄養について学び、実際に体組成計[体重計に体脂肪率や筋肉量の測定機能などがついたもの]を用いて自己の身体状況を把握し、栄養状態について考えます。</p>									
<p>6月2日 第2講 「食のリスクとは」 塚田 三香子 教授 放射能汚染、腸管出血性大腸菌感染症、BSE、トリインフルエンザなど、食品の安全については話題が豊富ですが、実際にはこのようなリスクはどれくらいで、防ぐにはどうすればよいのでしょうか。いっしょに考えてみましょう。</p>									
<p>6月16日 第3講 「口から始まる栄養摂取 ～口から食べる意味～」 長嶋 智子 准教授 毎日何気なくしている「食べる」ということについて、どれだけのことを知っているのでしょうか。体全体の健康にも関わる「口から食べる」ことについて一緒に考えてみましょう。</p>									
<p>6月30日 第4講 「野菜の調理特性と調理法」 高山 裕子 講師 野菜はビタミンやミネラルを多く含み、美しい彩りや食感で楽しませてくれる食卓には欠かせないものです。身近な野菜の調理特性と切り方・加熱調理・盛り付けのコツなど、実践に役立つ調理学を学びます。</p>									
<p>7月14日 第5講 「食品成分とその働きについて」 三森 一司 教授 身近な食品にどのような栄養素が含まれ、それらはどのような働きをしているのか理解しましょう。</p>									
テキスト	配布資料								
参考文献	定めない								
開講時期	前期	土曜日	13:30～15:00	開講日	5/26	6/2	6/16	6/30	7/14
関連科目				会 場	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ

平成24年度高大連携授業＜前期＞授業要目（科目概要）

Syllabus

		大学等名	聖霊女子短期大学						
科目名 (サブタイトル)	ようこそ保育の道へ	科目	(学部・学科) 生活文化科						
		担当者	(職・氏名) 教授 横山 智也						
授業概要 生活こども専攻で開講されている「保育原理」「保育内容表現」「こどもの音楽」「幼児理解」「こどもの図画工作」の中から、下記のような内容で5人の先生が授業を展開します。									
授業方法と留意点 講義と演習を組み合わせることで高校生にわかりやすく授業します。特別準備することはありませんので楽しく参加して下さい。									
授 業 計 画									
<p>5月26日 第1講 「ようこそ保育の道へ」 岩田 浩子 教授</p> <p>「保育」とは何でしょう。これは江戸時代にはなかったことばです。この授業では保育の歴史と現状を説明するとともに、保育の専門家である「保育者」になるにはどのような知識と技能を身につけ、どのように子どもと接することが大切かについてお話します。</p>									
<p>6月9日 第2講 「色はなぜ見えるのか」 横山 智也 教授</p> <p>太陽の光がモノの色を決めています。そこには波長というものがあります。波長と色の関係、色が見える仕組みなどを解説します。</p>									
<p>6月16日 第3講 「こどもの遊び」 畠山 君子 講師</p> <p>こどもの心を豊かに育てる遊びはたくさんあります。あなたも一緒に楽しく体験してみませんか。</p>									
<p>6月30日 第4講 「子どもを援助する ～絵画療法に触れてみよう～」 織田 栄子 講師</p> <p>子どもが伸び伸びと自分を出せるような心理的援助法の一つである絵画療法について学び、実際に体験することができます。</p>									
<p>7月14日 第5講 「コードネームを用いた簡単な伴奏づけ」 酒井 貴 講師</p> <p>子どもの歌を通して簡単な伴奏と弾き歌いを体験してみませんか。</p>									
テキスト									
参考文献									
開講時期	前期	土曜日	13:30～15:00	開講日	5/26	6/9	6/16	6/30	7/14
関連科目				会 場	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ

平成24年度高大連携授業＜前期＞授業要目（科目概要）

Syllabus

		大学等名		聖霊女子短期大学					
科目名 (サブタイトル)	哲学ははじめの一步 ～学び、生きることの意味について～	科目	(学部・学科) 生活文化科						
		担当者	(職・氏名) 教授 御子神 隆也						
授業概要 学ぶこと、生きることの意味について考える。人間は生きるために学ぶが、では生きること自体の意味とは何か。この問いは、最も基本的な問題でありながら、答えるのが最も難しい問いでもある。それを探るための基礎となるのは「人間とは何者か」を問うことである。これに対する答の例としてI・カントとM・シェーラーの人格主義を取り上げる。その思想を学ぶことを通して、生きる意味を探究するための知識や考え方を学習する。									
授業方法と留意点 教育の役割は、生きる方法ばかりではなく、生きる意味を教えることにある。本講では、その視点に立ち、「生きるために何を学ぶのか」という根本的な問いかけから出発して、個の尊厳と人間同士の関係性という人生の普遍価値へといたる道筋を示したい。その際高校生が理解しやすいように、身近な生活の中の具体例を挙げ、考えを述べさせながら、授業を進めたい。									
授 業 計 画									
5月30日 第1講 「人間について問うこと」 この問いへの答えを求める手がかりとして、①集団への帰属、②他者との関係性、③人格という三つの要素に基づく人間の自己認識について学ぶ。中でも人格という人間性に注目し、それに対する理解を深める。									
6月6日 第2講 「カント哲学における人間」 カントは人間を、理性、道徳性によって規定した。この考えは「形式主義」の名のもとに批判を受けているが、人生の意味という問題にとっては積極的な意義がある。このことを人間の自由と責任という側面から学ぶ。									
6月13日 第3講 「シェーラーの価値人格主義」 シェーラーは、人間の人格が価値の究極的な担い手であるとした。このことを学ぶ。そもそも「価値」とは何かを考え、「人それぞれ」とか「好みの問題」とかいう「もの分かりのよい」考えでは済まない、ということに気づく。									
6月20日 第4講 「哲学的人間論の諸説」 西洋思想史において現れた「理性的人間」「感情的人間」「生産的人間」「遊ぶ人間」「我と汝の関係を結ぶ人間」「神のかたどり」などの人間観を紹介し、人間性、人間らしさとは何かを考える。									
6月27日 第5講 「生きることは素晴らしいか (Life is beautiful?)」 この問いかけにはYesと答えたいが、どうしてそう言えるのか、理由を述べるのは簡単ではない。人生の希望は決してなくなる、生きる苦悩にさえ意味があるということ、V.E.フランクルの「夜と霧-絶滅収容所の体験記」を題材に考察し、生きる意味を学ぶしめくりとする。									
テキスト	講義内容をまとめたプリントを毎回配布する								
参考文献									
開講時期	前期	水曜日	17:30～19:00	開講日	5/30	6/6	6/13	6/20	6/27
関連科目				会場	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ

平成24年度高大連携授業＜前期＞授業要目（科目概要）

Syllabus

		大学等名		日本赤十字秋田短期大学					
科目名 (サブタイトル)	暮らしを創る介護福祉士の役割 ～「生きる」を支える人になる～	科目	(学部・学科) 介護福祉学科						
		担当者	(職・氏名) 講師 高橋 謙一						
授業概要									
① 介護福祉士の歴史、現状について理解します。 ② 暮らしを支える介護福祉士の役割について理解します。 ③ 高齢者や障がい者の「生活」に焦点をあて講義と演習で理解を深めます。									
授業方法 と留意点	その人らしさを大切にする生活支援と介護福祉士の役割について講義と実技演習による授業を展開します。								
授 業 計 画									
8月 9日 (木)									
第1講	13:00～14:30	「介護福祉の概況」 (介護福祉士の歴史と現状)				藤沢 緑子 講師			
第2講	14:45～16:15	「人間の尊厳を支える介護福祉活動と介護福祉士の役割」				藤沢 緑子 講師			
8月10日 (金)									
第3講	10:30～12:00	「高齢者及び障がい者の生活支援」				高橋 謙一 講師			
昼食時間	12:00～13:00	※昼食持参のこと							
第4講	13:00～14:30	「認知症の理解と生活支援」				高橋 謙一 講師			
第5講	14:45～16:15	「生活支援技術の実際」 ※演習：動きやすい服装、上履き持参のこと				高橋 謙一 講師			
<その他> この授業は、日本赤十字秋田短期大学を会場に開講します。 住所 秋田市上北手猿田字苗代沢17-3 電話 018-829-3045									
テキスト	適宜資料を配布する。								
参考文献									
開講時期	前期	夏季集中 (木・金)		開講日	8/9	8/9	8/10	8/10	8/10
関連科目				会場	日赤短大	日赤短大	日赤短大	日赤短大	日赤短大

平成24年度高大連携授業＜前期＞授業要目（科目概要）

Syllabus

		大学等名	秋田栄養短期大学						
科目名 (#がタイトル)	健康と栄養	科目	(学部・学科) 栄養学科						
		担当者	(職・氏名) 教授 佐藤 実						
授業概要	<p>日常の食事の摂り方は直接的・間接的に私たちの健康と密接な関わりをもっています。本講では、食の安全、食事の習慣と生活との関連性、食品の成分、身体の仕組み等について分かりやすく解説します。</p>								
授業方法 と留意点	<p>5つのテーマについて5人の講師がそれぞれ講義していく形式をとります。 講義テーマおよび担当者については、下記の授業計画をご覧ください。</p>								
授 業 計 画									
6月 3日									
第1講 9:30～11:00 「味覚の話」		佐藤 実 教授							
<p>味覚を感じるしくみについて、5つの基本味（甘味、うま味、酸味、塩味、苦味）それぞれが異なる受容体タンパク質に受容され、電気信号へ変換されて脳に伝えられる受容メカニズムを中心に分子レベルから電気生理学的・生化学的にやさしく解説します。</p>									
第2講 11:15～12:45 「農業と環境汚染 ～食の安全はどう守られたか～」		外城 寿哉 講師							
<p>過去に農業は環境汚染物質であり、食物連鎖の頂点にいる人間の健康を損なう恐れがあるという認識がありました。現代の農業ではこういった問題をどのように克服し、安全な農作物を生産できるようになってきたのでしょうか。その歴史と現状をお話します。</p>									
6月10日									
第3講 9:30～11:00 「バランスのよい食事とは？」		伊藤 恵 講師							
<p>バランスのよい食事をするためには、色々な食品を組み合わせる必要があります。色々な摂取法を紹介いたします。</p>									
第4講 11:15～12:45 「食品の色」		藤枝 弥生子助教							
<p>食べ物のおいしさを決める要因（二次機能）の1つである色、食品に含まれる主な色素成分や、これらの色素が持つ生体調節機能（三次機能）についてお話します。</p>									
6月17日									
第5講 9:30～11:00 「食事で強くなる-スポーツ栄養の基礎知識」		伊藤 千夏 講師							
<p>試合で勝つには、練習やからだづくりが欠かせません。練習に必要な体力づくりやからだづくりと食事との関わりについて解説します。</p>									
テキスト	必要に応じて講義ごとにプリントを配布して進めます。								
参考文献	開講時必要に応じて紹介します。								
開講時期	前期	日曜日	集中	開講日	6/3	6/3	6/10	6/10	6/17
関連科目	食品学・食品衛生学・栄養学・生理学他			会場	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ

平成24年度高大連携授業＜前期＞授業要目（科目概要）

Syllabus

		大学等名	聖園学園短期大学					
科目名 (サブタイトル)	楽しく学べる保育入門 ～子どもとともに歩む保育とは～	科目	(学部・学科) 保育科					
		担当者	(職・氏名) 教授 小林 建一					
授業概要	保育関係専門科目の授業を複数の教員が内容紹介し、本学保育科を理解する一助にしてもらう。							
授業方法 と留意点	通年または半期完結型の一連の授業を、90分ひとまとめにして提供する。科目によって内容構成や授業展開の方法が異なることを理解したうえで、講義や演習に参加してもらう。							
授 業 計 画								
6月6日	第1講	「保育所・幼稚園の生活と遊び (教育・保育実習)」			猿田 興子	講師		
6月13日	第2講	「遊びの中の育ち（保育内容指導法）」			安藤 節子	教授		
6月20日	第3講	「音楽はリズム・メロディー・ハーモニー（音楽）」			東海林美代子	講師		
6月27日	第4講	「心を育てるお話と絵本（児童文学）」			寺田 和子	准教授		
7月4日	第5講	「子どもの言葉っておもしろい（保育内容）」			蛭田 一美	助教		
テキスト	適宜、資料を配布します。							
参考文献								
開講時期	前期	水曜日17:30～19:00	開講日	6/6	6/13	6/20	6/27	7/4
関連科目			会場	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ

平成24年度高大連携授業<前期>授業要目 (科目概要)

Syllabus

		大学等名 秋田職業能力開発短期大学校	
科目名 (#がタイトル)	ソフトウェアのしくみ ～ロボットはどうして動くの?～	科目	(学部・学科) 電子情報技術科
		担当者	(職・氏名) 准教授 徳田 孝明
授業概要	携帯・家電・車などの身の回りの機器には、ソフトウェアと呼ばれるプログラムが入っています。「えっ。世の中ソフトウェアだらけじゃない!?!」「でも、そのソフトウェアってなに?」「見えるの?」子どもの頃遊んだレゴブロックにコンピュータを仕組んだロボットを動かして、ソフトウェアの仕組みを理解しよう!!		
授業方法と留意点	ロボットのプログラミングを通して、ものづくりの楽しさと難しさを学びながら、将来の方向性を考える参考になれば幸いです。ソフトウェアを全く知らない方でもどしどし参加してください。		
授 業 計 画			
7月30日 (月)			
第1講	10:30~12:00	「ソフトウェアとは」 ・ソフトウェアの成立ち ・ソフトウェアとは ・職業との関連性は	
昼食時間	12:00~13:00	※昼食を持参のこと	
第2講	13:00~14:30	「プログラムとは」	
第3講	14:40~16:10	「プログラムを作ってみよう」	
7月31日 (火)			
第4講	10:30~12:00	「ロボットを動かしてみようⅠ」 ・モーターやセンサーとは	
昼食時間	12:00~13:00	※昼食を持参のこと	
第5講	13:00~14:30	「ロボットを動かしてみようⅡ」 ・センサーを使ってみよう	
第6講	14:40~16:10	「コースを走らせてみよう」 ・ETロボコンの競技コースをロボットが激走 ・ロボット (プログラム) をチューニングしてみよう	
<その他> この授業は、秋田職業能力開発短期大学校を会場に開講します。 住所 大館市扇田道下6-1 (秋北バスターミナルより徒歩15分) 電話 0186-42-5700			
テキスト	自作テキスト・資料		
参考文献			
開講時期	前期	夏季集中 (月・火)	開講日 7/30 7/30 7/30 7/31 7/31 7/31
関連科目	会 場 職能短大 職能短大 職能短大 職能短大 職能短大 職能短大		

平成24年度高大連携授業＜前期＞授業要目（科目概要）

Syllabus

		大学等名		秋田職業能力開発短期大学校					
科目名 (サブタイトル)	部屋を仕上げてみよう ～内壁のつくり方と仕上げ方法の体験実習～	科目	(学部・学科) 住居環境科						
		担当者	(職・氏名) 講師 朝倉 卓也						
授業概要		内装下地から仕上げ作業への施工方法を学び、実習建物への内壁のボード取り付けからクロス張り施工をおこなう。							
授業方法と留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・施工実習を通して内装下地、仕上げ作業（石コウボード取り付け、クロス張り）を学ぶ。 ・ものづくりに興味のある生徒を対象とする。受講生は、作業服（類するもの）と帽子を着用するので作業をして汚れても支障のない服装で受講のこと。 								
授 業 計 画									
7月31日（火）									
第1講	10：30～12：00	「内装仕上げ作業の概要」							
昼食時間	12：00～13：00	※昼食を持参のこと							
第2講	13：00～14：30	「内装ボード取り付けと下地調整（実習）」							
第3講	14：40～16：10	「 ” ” 」							
8月1日（水）									
第4講	10：30～12：00	「クロス張り作業の概要」							
昼食時間	12：00～13：00	※昼食を持参のこと							
第5講	13：00～14：30	「クロス張り（実習）」							
第6講	14：40～16：10	「 ” ” 」							
<p>＜その他＞ この授業は、秋田職業能力開発短期大学校を会場に開講します。 住所 大館市扇田道下6-1（秋北バスターミナルより徒歩15分） 電話 0186-42-5700</p>									
テキスト									
参考文献	平成20年改訂 木造住宅工事仕様書（解説付）住宅金融普及協会								
開講時期	前期	夏季集中(火・水)	開講日	7/31	7/31	7/31	8/1	8/1	8/1
関連科目	建築構法、建築施工実習		会場	職能短大	職能短大	職能短大	職能短大	職能短大	職能短大

平成24年度高大連携授業＜前期＞授業要目（科目概要）

Syllabus

		大学等 名		秋田職業能力開発短期大学校						
科目名 (サブタイトル)	CADによるものづくり体験 ～簡単なマニピュレーターの設計・製作によるものづくりの体験実習～		科目 (学部学科)	生産技術科						
			担当者 (職・氏名)	教授 阿部 正人						
授業概要	CADによるマニピュレーターの設計を行い、そのデータに基いた部品を組み立てることで、コンピュータを使用した機械の設計方法や、ものづくりの世界を体験する。									
授業方法 と留意点	<ul style="list-style-type: none"> 設計・製作・組立を行う。 ものづくりに興味がある学生を対象とする。 									
授 業 計 画										
<p>8月2日（木）「CAD実習」</p> <p>第1講 10：30～12：00 ・ロボットハンドについて学ぶ</p> <p>昼食時間 12：00～13：00 ※昼食を持参のこと</p> <p>第2講 13：00～14：30 ・CADの概要および操作方法について学ぶ</p> <p>第3講 14：40～16：10 ・CADを使用して設計してみる</p> <p>8月3日（金）「総合製作実習」</p> <p>第4講 10：30～12：00 ・部品・工具および組立方法について学ぶ</p> <p>昼食時間 12：00～13：00 ※昼食を持参のこと</p> <p>第5講 13：00～14：30 ・製作実習</p> <p>第6講 14：40～16：10 ・製作実習</p> <p>授業は生産技術科の次の教員が担当します。 阿部正人教授、菊地博道准教授、安田三男講師、村上雅洋講師</p> <p><その他> この授業は、秋田職業能力開発短期大学校を会場に開講します。 住所 大館市扇田道下6-1（秋北バスターミナルより徒歩15分） 電話 0186-42-5700</p>										
テキスト	自作テキスト・資料									
参考文献										
開講時期	前期	夏季集中（木・金）		開講日	8/2	8/2	8/2	8/3	8/3	8/3
関連科目				会場	職能短大	職能短大	職能短大	職能短大	職能短大	職能短大